

(様式3)【鳴門市瀬戸中学校 実施報告書①】

拠点校として取り組んだ実践研究テーマ

個に応じた指導の充実・徹底を図り、自ら学ぶ態度を育てる授業を実践する。
学力の確実な定着に向けてICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを充実させる。

実践研究の内容等

月	内容等
4	・瀬戸中学校区幼小中一貫教育教員研修開催（4月4日） ・校内学力向上委員会にて学力向上実行プラン原案作成
5	【拠点校事業① 学力向上実行プラン作成検討会（5月12日）】 ・拠点校と協力校との課題を共有し、小中連携または中高連携における共通の取組についての検討 【拠点校事業② 幼小中協同授業実施（5月12日・英語科）】
7	・学校運営協議会において実行プラン説明（7月4日） 【拠点校事業③ 全国学力・学習状況調査、ステップアップテストの結果分析および課題の共有】
10	・校内学力向上委員会において実行プランの中間見直し検討会 【拠点校事業④ 学校力向上拠点校事業学校訪問（10月25日）】
11	【拠点校事業⑤ 幼小中協同授業実施（小中相互授業参観 11月18日・算数）】
12	【拠点校事業⑥ 学校力向上拠点校事業研究授業事前研修会（12月5日）】 【拠点校事業⑦ 学校力向上拠点校事業研究授業・授業研究会（12月7日・国語3年）】
2	【拠点校事業⑧ 幼小中協同授業実施（2月・社会）】 ・今年度のまとめおよび成果と課題の共有

(様式3) 【鳴門市瀬戸中学校 実施報告書②】

取組の流れ

幼小中一貫教育
教員研修

学力向上実行プラン
作成検討会

幼小中協同授業①

学力調査・ステップ
結果分析

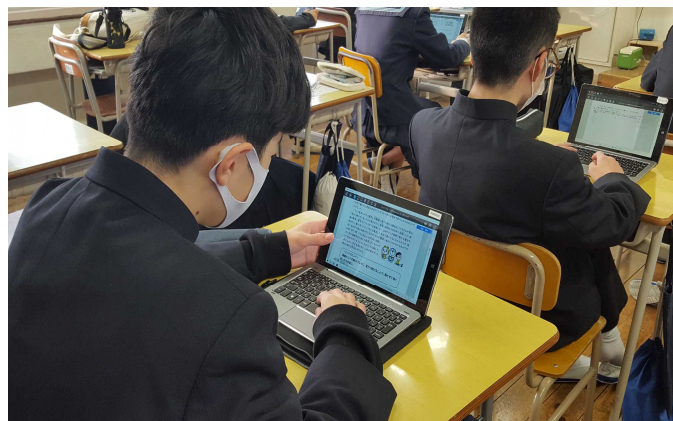
小中相互授業参観

研究授業・授業研究会

幼小中協同授業②

特徴ある取組について

- ・幼小中協同授業の開催（5月英語・11月算数・2月社会）
- ・教科横断的な授業実践への挑戦（STEAM・12月保体&数学）
- ・シンキングツールを活用した授業実践（12月国語）
- ・自主学習のノートの改善（自立的な家庭学習の充実）
- ・国語力向上・文章力向上に向けた取組（文章カステップの採用）
- ・おはよう！メッセージの実践（アウトプットを意識したインプット体験）
- ・学力向上通信「群青」の発行（学びに向かうの意識の醸成）
- ・瀬戸中型メンター制（瀬戸輪COME）を活用した授業力向上



おはよう！メッセージ



タグラグビーの授業（数学&保体）

(様式3) 【鳴門市瀬戸中学校 実施報告書③】

取組の成果

- ・学力向上に向けた取組が教科単独ではなく、学校の教育活動全体をとおして進めるというねらいを共有することができた。
- ・授業におけるタブレットの活用の頻度が増えるとともに、生徒自身が自律的に学ぼうとする姿があらゆる場面で見られるようになった。とくに表現活動においてはプレゼンをはじめ、多様な発表の機会をつくることにより発表スキルの向上だけでなく、なかまの話を興味をもって聞く態度が養われてきた。
- ・不登校生徒に対するタブレットを活用した授業実践。

取組の課題

- ・1 教科につき担当教員が一人という状況のため、教員間のコミュニケーションはとれるものの、より専門的な教科別研修が難しいため、他校（教科部会・研究指定校等）や市教委との連携が必要である。
- ・今後、継続した取組を行っていくための計画的な教職員研修の実施（外部人材の招聘）
- ・すべての教科に読解力が関わってくるため、国語科を中心にどのようにこの力を身につけさせるか。

2年目に向けて（取組の成果や課題をもとにした具体策等）

- ・学力向上実行プラン作成の計画内容（幼小中一貫教育の強みを活かした実行プランに）
- ・タブレット端末を活用した授業の構築（タブレットの活用に意味を持たせる→学びを深める）
- ・授業改善チェックシート（仮称）による振り返り（教師自身の授業変革に向けた意識改革）